

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月28日

北海道運輸局

協議会名: JR石北本線調査・実証事業協議会

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)	評価結果	
JR石北本 線調査・実 証事業協 議会	公共交通利用実態調査 鉄道バス共通時刻表配布	A	学生を除くと日常的に石北線を利用する住民が極めて少ない一方で、今は利用していないものの今後は利用するとの回答が22%あること、また、通学生向け調査では、通学時間が平均49分であり、自宅から駅までの移動手段は自転車・バイクが39%と最も多い実態を確認した。今後の改善点としては、共通時刻表において、ダイヤの変更に対応可能とすることなどがあげられる。	・事業は計画どおりに実施されている。 ・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。	
	来訪者管内移動の利便性向上	A	鉄道利用後の目的地までの2次交通としてのバスの利用ニーズがあることを確認した。 車移動からの転換を図るための2次交通との連携による利用者増加策を検討・実施する。		
	都市間移動の利便性向上	A	都市間移動における鉄道と都市間バスの組み合わせにより選択肢が増えることが利用促進につながることを確認した。 一方で割引施策を継続的に行う方策や、マイカーからの転換を一層促進するための方策について更なる検討が必要であることなど石北線が抱える課題等を確認した。 鉄道とバス等のさらなる相互連携による地域住民等の都市間移動の利便性向上策を検討・実施		